

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	選択
担当教員			
田中 恵子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	HS (スポーツと健康)	103 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	スキンケア、メイクアップの基本的な知識と技術を学ぶ。 メイクによる印象効果を理解し、社会生活に活かす事を旨とする。 固定概念にとらわれない自由で柔軟な発想力を身につける。 この科目はDP（ディプロマポリシー）にある基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付けることをねらいとする。		
授業計画	第1回	授業概要 メイクアップの効果と必要性 印象形成のカラクリ 予習（時間）：流行観察：化粧品、服等の店舗を歩き流行を感じる（30） 復習（時間）：雑誌、映画、広告のメイクをあらゆるジャンルから感じ取る（30）	
	第2回	美の概念 化粧の歴史 世界、慣習別の美の概念を知る 予習（時間）：流行観察：化粧品、服等の店舗を歩き流行を感じる（30） 復習（時間）：雑誌、映画、広告のメイクをあらゆるジャンルから感じ取る（30）	
	第3回	皮膚構造 皮膚の構造 ターンオーバーの仕組み 予習（時間）：流行観察：化粧品、服等の店舗を歩き流行を感じる（30） 復習（時間）：雑誌、映画、広告のメイクをあらゆるジャンルから感じ取る（30）	
	第4回	スキンケアテクニック① 化粧品の扱い方、肌質の種類とお手入れ方法 実践：スキンケアに挑戦！ 予習（時間）：化粧品販売員の立ち振る舞いを観察する（30） 復習（時間）：自分自身のスキンケアを再確認する（30）	
	第5回	スキンケアテクニック② 人との距離感、肌状態を知る 実践：スキンケアに挑戦！（相モデル） 予習（時間）：化粧品販売員の立ち振る舞いを観察する（30） 復習（時間）：人にスキンケアを施し、肌に触れる事に慣れる（30）	
	第6回	マッサージテクニック 美肌を導くマッサージの効果、注意点を理解する 実践：基本マッサージ（顔面）の習得 予習（時間）：化粧品売場へ行き、マッサージ用の商品をリサーチ！（30） 復習（時間）：マッサージの手順を覚える（30）	
	第7回	ベースメイク① ファンデーションの種類 コントロールカラー、コンシーラーの効果 予習（時間）：人間観察「ベースメイク印象」（30） 復習（時間）：化粧品売場にてベースメイクアイテムをリサーチ！（30）	
	第8回	ベースメイク② ファンデーションの色合わせ方法、のせ方テクニック 実践：ベースメイクに挑戦！（相モデル） 予習（時間）：化粧品売場にてベースメイクアイテムをリサーチ！（30） 復習（時間）：人にベースメイクを施す（30）	
	第9回	アイブロウ① 眉のお手入れ方法&描き方、眉による印象の違い ドローイング練習 予習（時間）：人間観察「眉印象」（30） 復習（時間）：雑誌・広告におけるメイク印象の研究（30）	
	第10回	アイブロウ② 眉のお手入れ方法&描き方、眉による印象の違い 実践：骨格に合う美人眉に挑戦！ 予習（時間）：人間観察「眉印象」（30） 復習（時間）：雑誌・広告におけるメイク印象の研究（30）	
	第11回	アイメイク	

	グラデーション、入れ方による見え方の違い 実践：アイホールを意識して流行の目元に挑戦！ 第12回 予習（時間）：人間観察「目元印象（アイメイク）」（30） 復習（時間）：雑誌・広告におけるメイク印象の研究（30） リップ&チーク 色バランスのとり方、骨格の捉え方、形による効果 実践：清潔感を導くリップ、チークテクに挑戦！（相モデル） 第13回 予習（時間）：人間観察「リップ&チーク」（30） 復習（時間）：人にメイクを施す（30） 印象メイク メイクによる印象効果を感じとる 実践：印象メイクに挑戦！ 第14回 予習（時間）：映画・広告・絵画等から様々な印象を感じとる（30） 復習（時間）：映画・広告・絵画等から様々な印象を感じとる（30） カウンセリングメイク 時、場所、シーンに合わせたメイクの提案 メイク画の作成 第15回 予習（時間）：化粧品売場にて客として接客を体験する（30） 復習（時間）：化粧品売場にて客として接客を体験する（30） メイクパターン提案 提示した条件をもとにメイクパターンを考案する メイク画作成→提出 予習（時間）：美、流行を常に意識しながら感性を広げる（30） 復習（時間）：美、流行を常に意識しながら感性を広げる（30）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP（現代ビジネス学科）の2項目を意識した科目となっている 1、実践力を身に付け、組織において協働できる能力を身に付けている 3、基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付けている 【身に付くスキル】 協働力・主体性
到達目標	1、スキンケア、メイクアップの基礎知識と技術を習得する 2、メイクによる印象効果を理解し、実践する 3、独自の発想でテーマに合わせたメイクパターンを提案することができる
課題や小テスト等のフィードバックの方法	必要に応じて、重要な部分は授業内で解説する
履修上の注意	“先を見ながら、行動する” 考えるという事を習慣にして、行動に移すこと 経験は貴重な宝となります
成績評価の方法・基準	定期試験70%、課題・メイクパターン提案力評価30%、
教科書	
参考書・教材	【参考書】必要に応じて資料プリントを配布する 各自、講義に参加しながらメモをとる事でその回のレジュメが完成する 【教材】各自準備して持参するもの有り タオル2枚、ダッカール（髪留め）2本程度（持参時期等の詳細は授業内にアナウンスします）
備考	演習科目／実務家教員による授業 ※定員指定：道具・教室等の関係から最大定員は20名でお願いします
教員との連絡方法	Melly